



青森河川国道ニュース

お問合せ先：国土交通省 青森河川国道事務所 地域づくり相談室 〒030-0822 青森市中央三丁目20-38 TEL017-734-4529

平成30年
100周年
岩木川改修事業

歴史編 VOL4

今年(平成30年)、大正7年12月から始まった岩木川改修事業が100周年を迎えることから当ニュースでは、その改修の歴史や100周年に向けた各種行事やイベント情報などを定期的に発信していきます。

水との戦い (洪水の被害に泣いた昭和33年・35年)

■昭和33年(1958)

7月下旬から9月まで連続して洪水が発生、大きな被害を受けました。7月28~29日、岩木川水系では平川、浅瀬石川、十川流域を中心に豪雨となり、大洪水に見舞われ、約2週間後の8月11~13日の集中豪雨では、降雨量が四兵衛森(弘前市)378mm、西目屋308mmとなり、中弘、西津軽地方を中心に

大被害を受けました。



洪水氾濫により冠水した弘前市浜の町の状況

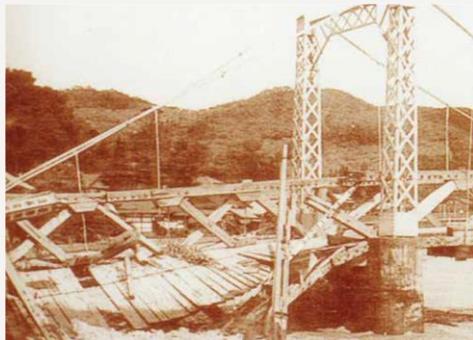


弘前市内を濁流となって流れる岩木川

さらに9月5~7日の大雨では、雨量が四兵衛森(弘前市)158mmを記録し津軽地方で被害が発生、約10日後の9月17~18日は、台風21号の影響により県下で豪雨となり、岩木川流域の雨量は三笠山(平川市)181mm、舟打鉾山(弘前市)175mmなど弘前市及び南津軽地方で甚大な被害を受けました。9月26~27日も台風22号の影響で各地で豪雨となり、わずか約2ヶ月の間に5回の洪水が発生し、甚大な被害を及ぼしました。

■昭和35年(1960)

この年の8月2~3日、津軽地方中南部と北部は局地的な豪雨となり、3日の雨量は、碓ヶ関321mm、早瀬野(大鰐町)324mm、砂子瀬(西目屋村)186mmを記録しました。特に、碓ヶ関村、大鰐町では被害甚大。被害状況は死者・行方不明者17名、家屋全半壊、流失312戸、床上床下浸水11,360戸、水田流失埋没、冠水1,398ha、その他土木施設等に被害を被りました。



岩木川右支川平川(大鰐町)



避難する大鰐町の人々(大鰐町)